

学園創立 80 周年記念事業イベント

「つなげよう・ひろげよう 管理栄養士・栄養士の輪 ～羽ばたく卒業生～」

管理栄養士・栄養士委員会
委員長 渡邊早苗

8月25日(土)坂戸キャンパスにおいて、学園創立80周年記念イベント「つなげよう・ひろげよう管理栄養士・栄養士の輪～羽ばたく卒業生～」を開催しました。

卒業生のネットワークの構築・活性化を狙いとしたこのイベントは、午前の部では、特別講演「管理栄養士・栄養士の社会的役割と本学の卒業生にかけられる期待」として香川芳子学長からご講演を頂き、午後の部では、5つのフォーラム(F1～F5)を3時間にわたって同時開催しました。夕方5時から懇親会が開催されました。

当日は川端輝江教授の司会で開催に先立ち委員長の渡邊よりご挨拶をさせていただきました。続いて五明紀春副学長の座長による香川芳子学長の講演が始まり、“本学出身の管理栄養士・栄養士は何をめざす。創立80周年に学園出身管理栄養士・栄養士への思い”を熱く語られ、創立当初から続く本学園の教育方針や社会的役割についてお話し下さいました。昼食は堀端薫専任講師の陣頭指揮による四群点数法によるお弁当が用意されました。

F1は三浦理代教授の企画による「私の今、生きがい、やりがい～食品企業で働く管理栄養士・栄養士～」をテーマに7名のパネラーによる講演と討論(座長は上田成子教授)が行われ活気あふれる会場でした。

F2は石田裕美教授の企画による「「栄養」

と「料理」と「給食」～食育につながる給食の品質管理～」をテーマに5名のパネラーによる講演と討論(座長は石田裕美教授)が行われ熱気のあるフォーラムでした。

F3は恩田理恵准教授の企画による「人間栄養学から見た臨床栄養」をテーマに板倉弘重日本臨床栄養学会理事長から基調講演(座長は田中明教授)をいただき、引き続き5名のパネラーによる「臨床における栄養・食事療法の実際」として講演と討論(座長は本田佳子教授)が行われました。

F4は田中久子教授の企画による「保健・福祉行政の管理栄養士の業務・役割は今後どうあるべきか」をテーマに5名のパネラーによる講演と討論(座長は武見ゆかり教授)さらに足立己幸名誉教授による総括があり、5時近くまで熱心に行われました。

F5は松田康子准教授の企画による「管理栄養士・栄養士に必要な調理力～豊かな食環境を目指して～」をテーマに7名のパネラーによる講演と討論(座長は松田康子・豊満美峰子准教授)が行われました。

懇親会は三好恵子教授の企画により、松柏軒の宮田シェフが懐かしい学園レシピを再現し皆様大満足で和やかな時間を過ごしました。

当日は猛暑にも関わらず外部からは、卒業生190名、在学生160名の合計350名、これに学内の教職員が加わり450名を超える参加者となり、懇親会にも115名の方々が参加し盛会のうちに19時に終了しました。



多くの参加者を前に講演する香川芳子学長